

う え の に し し ょ う
上野西小だより

http://school.iga.ed.jp/uenonishi-e/

はつこう
2024. 9. 27 発行

だい
第6号

こうちやうしつ
校長室より

た し がくりょく み ぜんこくがくりょく がくしゅうじょうきょうちやうさけっか
確かな学力を身につけるために～全国学力・学習状況調査結果から～

ほんねん がつ しやうがっこう ねんせい たいしやう じっし ぜんこくがくりょく がくしゅうじょうきょうちやうさけっか とど
本年4月に小学校6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果が届きました。
ほんこう がくりょく じょうきょう がくしゅうじょうきょうちやうさけっか げんじやう こんご とりくみ
本校の学力の状況、学習状況調査からみえる子どもたちの現状、今後の取組について
お伝えします。



1 がくりょくちやうさけっか ぜんこく くら
1 学力調査結果・・・全国と比べて

こくご ぜんこく くら うわまわ
◇国語：「全国と比べて上回っている」

さんすう ぜんこく くら うわまわ
◇算数：「全国と比べて上回っている」

- ※ 「全国と比べて上回っている」⇒学校正答率が全国正答率に対して+5%以上
「全国と比べてやや上回っている」⇒学校正答率が全国正答率に対して+2%以上5%未満
「全国と比べてほぼ同じである」⇒学校正答率が全国正当率に対して±2%未満

【設問ごとの結果からわかった本校の子どもたちの強み◇と弱み◆】

《国語》

◇文中における主語と述語との関係を捉えることができる。(選択問題) せんたくもんだい
⇒本校正答率80.9% (全国正答率62.3%)

◇物語を読んで人物像や物語の全体像を具体的に想像し、心に残ったこととその理由をまとめて書く。 ころのこ
⇒84.5% (72.6%)

◆資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。(選択問題) せんたくもんだい ⇒53.6% (52.9%)

◆登場人物の相互関係や心情について、描写を基に捉えることができる。(選択問題) せんたくもんだい ⇒69.1% (66.9%)

《算数》

◇問題の数量関係を捉えて式に表すことができる。 せんたくもんだい ⇒89.1% (62.1%)

◇角柱の底面や側面に着目し五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述する。 ⇒89.1% (72.0%)

◆道のりが等しい場合の早さを時間を基に考え、その理由を言葉や数を用いて記述する。 ⇒37.3% (31.0%)

◆示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、答えを導き出す。 ⇒53.6% (49.3%)

がくりょくちやうさけっか けっか じやうき とお ぜんこく せいとうりつ せいとうりつ たい いじやう
学力調査の結果は上記の通りでしたが、子どもたちが一生懸命に取り組み、最後まで諦めずに
かいとう すがた けっか あらわ いま きじゆつしき もんだい たい にがていしき
解答しようとしていた姿が結果に表れています。また、今まで記述式の問題に対して苦手意識がみ
られていましたが、粘り強く取り組むことで無回答率も全国と比べて低い結果となりました。これまでの
とりくみ ぜんこく くら ひく けっか
取組が子どもたちの学力向上につながってきていると感じています。

いちにち たいはん し じゆぎやう じっかん つぎ
一日の大半を占める授業が「わかる」、できなかったことが「できた」という実感ほど、次への
がくしゅういよく がっこうせいいかつ じゅうじつかん こんかい がくりょくちやうさけっか ぶんせき
学習意欲や学校生活の充実感につながるものはありません。今回の学力調査の結果を分析し、
しやういんかん きやうゆう こんご じゆぎやうかいぜん い がくりょく ていちゃく かにてい きやうりょく
職員間で共有して今後の授業改善に活かしていきます。しかし、学力の定着には家庭の協力が
ふかけつ ぼくしゃ みなさま がくしゅう かげ かくにん こえ
が不可欠です。保護者の皆様におかれましては、学習の励みや確認になるよう声かけをしていただ
ひび かにてい がくしゅう とりくみ ねが
き、日々の家庭学習への取組へつなげていただきますようよろしくお願いいたします。

○生活のことについて

- ①人の役に立つ人間になりたいと思う。⇒97.3% (95.9%)
- ②いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。⇒100% (96.7%)
- ③自分と違う意見について考えるのは楽しい。⇒81.5% (75.8%)
- ④自分にはよいところがある。⇒89.8% (84.1%)
- ⑤将来の夢や目標を持っている。⇒91.6% (82.4%)
- ⑥ゲーム機やインターネット等の使い方について、家の人と約束したことを守っている。
⇒68.5% (71.1%)

「いじめはいけないことだ」「人の役に立つ人間になりたい」といった倫理観につながる項目や「自分と違う意見について考えるのは楽しい」といった他者への理解につながる項目、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っている」といった自己肯定感につながる項目は全国と比べると高い。一方で、「ゲーム機やインターネット等の使い方について、家の人と約束したことを守っている。」といった項目は全国と比べると低かった。

○家庭学習やタブレットを使った学習について

- ①学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか。
(学習塾・家庭教師・インターネットを活用して学ぶ時間を含む)

3時間以上	4.6% (11.0%)	2時間以上3時間未満	9.3% (12.5%)
1時間以上2時間未満	35.2% (31.1%)	30分以上1時間未満	36.1% (27.0%)
30分未満	13.0% (13.0%)	全くしない	1.9% (5.3%)

- ②タブレットを活用することで楽しみながら学習を進めることができる。⇒88.9% (86.0%)
- ③タブレットを使い画像や動画、音声等を活用することで学習内容がよく分かる。⇒92.6% (89.8%)
- ④タブレットを活用することで自分の意見を分かりやすく伝えることができる。⇒77.8% (79.2%)
- ⑤タブレットを活用することで友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。⇒85.2% (86.1%)

家庭学習については、自主学習等「自分で計画を立てて自ら学ぶ姿勢を養う」ことにも重点を置いていきたい。家庭学習の量は、文部科学省は学年×10分以上という目安を示し、本校でも取組を進めている。徐々に数値は高くなってきているものの高学年になるほど家庭学習の時間が伸びていない現状がある。タブレットを使った学習については、調べ学習や画像・動画の活用は積極的に行っているが、それを加工して自分の意見を伝えることに使ったり、友達との話し合いに活用したりするまでには至っていない。

【保護者の皆様へお願い】家庭学習や読書の習慣化を！

～家庭学習や読書習慣を支える子どもへの働きかけ～

- ①生活のリズムをととのえる。→「早寝早起き朝ごはん」「ルール・約束事を決める(携帯電話を含む)」
- ②学ぶ環境をととのえる。→「家庭学習の計画を立てる」「復習する」「家庭で一緒に読書をする」
- ③努力を認め、はげます。→「具体的にほめる」「結果だけでなく頑張りを認め、はげます」
- ④子どもと話をしする。→「学校のこと、友だちのこと、将来や進路のことなど話をしする」

※子どもたちの日常の様子については、「上野西小学校ホームページ」

(<http://www.iga.ed.jp/uenonishi-e>) にて公開しています。